

## 平成 24 年度 第 2 回理事会議事録

日時：2013 年 2 月 17 日（日）13:00 – 18:00

場所：東京ステーションコンファレンス 604 会議室

（東京都千代田区丸の内一丁目 7 番 12 号）

出席者：理事 15 名

（阿形、岡、武田、出口、田村、赤坂、稲葉、窪川、蟻川、沼田、井口、高宗、内山、富岡、飯田）

欠席者：監事 2 名（佐藤、長濱）、理事 3 名（高畑、山下、尾崎）

事務局：永井

開会にあたり、武田庶務担当理事より、理事 18 名のうち出席者 15 名で定足数を満たしており、理事会が成立していること、また公益化後の議事録署名人は会長及び出席した監事となっているが、今回は監事 2 名（長濱嘉孝、佐藤矩行）が欠席のため、定款第 21 条により、署名は会長が行うことが報告され、了承された。次いで配布資料の確認を行った。

定款第 33 条により議長は阿形会長が務めることとした。

### 報告（一部審議）事項

#### 1. 会長報告：会長（阿形）

- ・名誉会員の大西英爾先生、小林英司先生逝去の報告  
学会からお花と弔電をお送りした。

#### Zoological Science 誌への追悼記事

大西先生－園部治之先生（甲南大）、小林先生－竹井祥郎先生（東大）

- ・本部企画シンポジウム@岡山大会  
本部企画としてノーベル賞受賞者下村脩先生の特別シンポジウムを開催予定（その他に小林先生の追悼シンポジウムが企画されている）
- ・各委員会メンバー紹介（資料-1）  
重複している委員がいるが、今回は了承を得ているので調整は行はない。  
（申し送り事項として、次回はできるだけ重複をなくすように注意して選出）。

#### 2. 庶務幹事報告（武田）（資料-2）

会員数について — 微増、学生会員が多いのが本学会の特徴  
委員会メンバーの所属部局への委嘱状については今後行う。  
名誉会員の推薦、承認のあり方は今後検討する。  
感謝状の推薦は次回理事会まで学会本部までお願いしたい。

#### 3. 会計報告（出口）（資料-3）

3割近い会員が未納。周囲の会員に会費納入を促してもらいたい

#### 4. IT化、大会演題登録システム、TV会議他（岡）（資料-4）

- ・学会登録システム変更

UMIN に代わるシステムをダイナックスに依頼済み。会員データベースと連携が可能になる新システムを岡山大会から導入予定。テスト版は完成しているので理事はテストしてほしい。この他岡山大会では、予稿集・プログラムを事前に送付せず、当日配布とすることを実施。会員には事前登録なしでも内容が見られるように会長より依頼あり。

- ・委員会会議のIT化

Google+Hangout による TV 会議を推奨。

- ・理事会資料のペーパーレス化と報告時間の短縮化

次回から PDF で事前配布（前日までに順次共有サイトなどへアップする）。各理事は会議までに目を通すこと。委員会報告については、強調すべき点、審議事項を除き、口頭報告を省略する。

- ・学会 HP への新 CMS システムの導入と英語化

CMS システム導入には費用が発生するので慎重に検討。英語化は進行中。

#### 5. 出版・図書委員会（高宗理事）資料 5-1、5-2

2016 年開催の国際動物学会に向けて Springer からのシリーズ本を刊行予定。現在 Volume Editor を選考中。適宜理事会へ feedback する。契約に関しては事務局が担当する。

#### 6. 教育担当委員会（赤坂理事）資料 6

- ・「動物学会 Q&A - 高等学校の先生方へ -」を学会 HP 内に設置。
- ・「高校生バイオサミット in 鶴岡」（慶應義塾大学先端生命科学研究所主催）への後援依頼が来ている。経塚先生（教育担当委員会委員・東北支部）を窓口として対応する。動物学会大会での発表実績を書類審査に代えることを承認。

#### 7. 賞選考等委員会（蟻川理事）資料 7

- ・選考委員が候補者を推薦するために委員を辞退することは不可とする。ただし自身が被推薦者となった場合は辞退する。その場合、補欠から繰り上げを行い、新委員とする。
- ・動物学会賞のキャリアオーバーは今回は実施しない。

。

8. 将来計画委員会（報告資料を武田理事代読）資料 8  
二か月に一回、月末に定期的開催を行っている
9. 男女共同参画委員会（窪川理事）資料 9
  - ・学会 HP のトップページで、幹事学会であることを明示する（1 年間）
  - ・各種委員会名を学会 HP のトップページに掲載する。
  - ・学会大会の発表時に求職者用黄色のロゴマークを付けること承認。  
（ロゴだけでなく、学年、ポストドクなどの立場も伝えるのが良いとの意見有）
10. 広報委員会（富岡理事）資料 10  
本部委員会よび支部委員の 2 部体制で運営する。
  - ・2 月初旬にメール会議 – 資料にある検討課題を討議。引き続き検討する。  
協賛企業のバナー（掲載料を徴取）について次回理事会で審議
11. 渉外担当報告（内山理事）資料 11  
「動物学会への寄付」について議論をしている。次回理事会で意見交換を行う。  
学会 HP トップページに寄付のバナーを置く、という意見が出された。
12. 国際交流員会（稲葉理事）資料 12  
若手国際交流、2016 年国際動物学会への対策、国際化への方策を議論している。
13. 各支部会からの報告 資料 13  
北海道（武田理事代読）、東北（田村理事）、関東（赤坂理事）、中部（井口理事）、近畿（沼田理事）、中国四国（富岡理事代理報告）、九州（飯田理事）
  - ・赤坂関東支部長より、支部大会で会費を徴収する際の経理上の扱いについて質問があった。--- 支部会費を徴収することに問題はないが、収支を報告して頂き、残額等があった場合は、事務局へ相談をすることということになった。
14. その他
  - ・2013 年岡山大会（代理報告・富岡理事） 順調に進んでいる。  
2012 年 10 月 22 日 HP が公開、12 月 19 日高校生ポスター案内発送  
現在、シンポジウムや関連集会を受付中（〆切 3 月 29 日）、  
大会二日目に本部企画（下村先生のシンポジウム）@市民会館  
懇親会は駅前のグランビアホテルで、など。
  - ・2014 年東北支部学会大会（田村大会長） 東北支部全体で組織する。  
2014 年 9 月 10-13 日 東北大学川内キャンパスで行う予定。

- ・2015年関東支部学会大会（赤坂理事） 新潟大学で濱口大会長の下で行う予定。
- ・公益化後半年の状況（永井） - 公益社団化により所轄官庁は内閣府へ移行した。法制度の整備により、社団時代に比べ、必要書類や手続きは明確で論理立っている。そのため、業務はむしろ、行いやすい。

- ・税額控除団体について（永井）

このまま行けば、7月中に税額控除団体となる予定。

今後も税額控除団体になるためには、3000円以上の寄付が100件必要（5年間毎に審査。平均で1年100件が要件）となり、それに向けた広報活動や方策を今後検討する。簡単に寄付できるシステム（HPからのワンクリックや現在の寄付状況の把握が可能な）を検討する。

- ・H25年度科学研究費・研究成果公開促進費の申請（永井）

「学術誌データベース」平成20年から5年間継続で交付を受けたが、動物学雑誌、彙報のXML化を目指して、新たに申請を行った。日本貝類学会のジャーナル分を合わせての申請となっている。

学術定期刊行物（B）（動物学会）、（A）（9学会連携）を申請中。

6月の理事会までに結果が判明。

- ・自然史学会連合総会 資料14 --- 後藤支部代表委員動物学会代表として参加。現在、出版事業を計画しており、内容や人選で理事会へ諮る事項が出た来る。

## 審議事項

1. モース研究会から（阿形会長） プレートに動物学会の名称を刻む件 審議が諮られ、満場一致で了承された。
2. 2.学会賞等の選考時、賞等理事陪席の是非等-蟻川理事（蟻川） -- 学会賞選考に関わる今までの経緯を踏まえ、賞等理事の陪席を今年は認めることとなった。これは経過措置として承認とする。
- 3.Springerからの書籍出版について（高宗理事） - ここはどう書けばよいでしょうか???
- 2.
3. 4.ZS冊子無料送付の廃止について（出口理事） 資料3 冊子出版への科研費廃止により、冊子無料配布を廃止とするか審議が行われた。その結果、原則、無料配布は廃止することとなった。今後、会員、団体への冊子体販売やその価格などを次回理事会で審議する。

4. 5. 培風館（松本氏）へ 20 万円を支払う件（阿形会長）  
科研費図書補助金返還に関わり、個人がその支払を行っていることから審議が行われた。さらに詳細な書類を検討、経緯を調査して、次回理事会で審議することとなった
5. 6. カード引き落とし手数料について（永井事務局長）  
会員へのサービスの一環として、カードでの会費引き落としシステムの導入を検討した。その上で、5%の手数料は会費に上乗せして徴収することが決議された。  
実際には 11,800 円 が 12,390 円となる。
6. 7. 国際動物学会大会（2016 年）について（武田理事、阿形理事）追加配布資料あり  
佐藤（矩行）元会長、長濱前会長が正式に引き受けた経緯もあり、2016 年開催予定の国際動物学会大会を動物学会として主体的に開催することを提案した。審議後、この方針が了承された。2013 年 6 月 25 日に開催される国際動物学会 (ISZS) 総会@北京、長濱前会長が国際大会の概要を説明する必要があり、準備を急ぐこととなった。審議の結果、以下のような形式で行うことが了承され、関係者に会長から打診することとした。
  - ・本大会を日本動物学会の質の高いサイエンスを海外に知ってもらう機会とする。
  - ・労力的にかなり大変になるので、佐藤（矩行）元会長を大会長として OIST が持つ国際性を活かして国際大会を展開するとともに、国内大会を平行に開催し、それにカップルした形でやる。2016 年は九州支部担当する順番であり、琉球大学が国内大会の候補地となる。